

# くどやま

こんにちは！  
議会 です

さくら2号団地

議案審議の結果……P2

一般質問と答弁……P4～6

委員会活動報告他…P8～9

主な議案・質疑……………P3

決算委員会の意見書・討論…P7～8

活動日誌・編集後記……………P10



主な議案・質疑

■ 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

問 職員給与や手当の改定にあたり、職員組合との話し合いは行われましたか。

答 はい、職員組合との協議を行いました。

問 職員組合からは、どのような意見や要望が出されましたか。

答 組合からは、確定闘争による要望として、人事院勧告を実施するよう求める意見がありました。

問 町は、その要望にどのように対応しましたか。

答 話し合いの場で、今回の提案内容どおり、人事院勧告に沿って給与・手当の改定を行う考えを説明しました。

■ 九度山町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

の制定について

問 こども誰でも通園制度の実施に向けた進捗状況はどうなっていますか。

答 受入年齢・定員・部屋の使い方・職員要件など主要部分は事業者と概ね調整済みです。その他の細部は現在も事業者と詰めています。

問 育児放棄など保育行政に関わる深刻なケースの苦情も事業者に任せるのですか。

答 すべて事業者任せにはしません。町も事業者と連携し、保護者の声や子どもの状況を定期的に把握し、必要に応じて町からも改善を申し入れます。

■ 九度山町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について

問 地域限定保育士制度に對する今後の九度山町の対応はどうなっていますか。

答 和歌山県は、まだ地域限定保育士試験の導入をされていませんが、令和9年度の試験導入を検討しており、当町におきましても、県の動向を注視して参りたいと考えております。

■ 九度山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報等の提供に関する条例について

問 住登外者宛番号管理機能について説明を求めます。

答 町の事務を処理するために、住民基本台帳に登録されていない方に固有の番号を付与し管理する情報システムの事でありませぬ。

問 一人の人が複数の宛名番号をもつていたり聞いているがどうなっていますか。

答 国の標準化システムの機能の中で管理する

事となります。複数あるものについては統一される可能性があります。

■ 令和7年度九度山町一般会計補正予算(第6号)について

○ 門扉設置工事(入郷河川進入路)

問 なぜ門扉の設置が必要なのでしようか。

答 7、8月の観光シーズンには川遊び客が集中し、道の駅を本来利用したい方が駐車できない状況が発生しています。そこで門扉を設置し、川への進入を制限することで、車両流入やごみの発生を抑える狙いがあります。

問 ごみ問題や駐車場問題への今後の対応は。

答 今回の門扉設置は、現時点で可能な対策の一つです。夏場の実際の状況を確認し、県や国とも連携し、段階的に解決策を検討していく方針です。

一般質問と答弁

伊丹 俊也 議員

問一 「子ども誰でも通園制度」を安心・安全に実施するために

質問 「子ども誰でも通園制度」について質問します。

- ① 利用方法は定期利用で、実施方法は一般型で実施を
- ② 利用できる子どもは満3歳になつた年度末までに
- ③ 安心安全の保育環境確保のため、国基準を上回る町独自の基準（職員配置、利用時間など）を定めて、事業を行うこと
- ④ 保育士の確保、処遇改善のため、町独自で補助単価の上乗せの検討を

町長 ①九度山保育所での実施はいったん見送り、※労働者協同組合Mys（ミース）において、利用する曜日と時間を決めて子どもを受け入れる「定期利用」で、実施方法は専任の保育士による「一般型」で行ないたいと考えています。

② 国基準で満3歳未満となつているため、満3歳になつた時点で保育所の通常保育か幼稚園への入園を考えてもらいたいと思います。

③ 国基準を上回る町独自の基準を決めることについては、制度の利用状況や保護者のニーズなどを把握した上で、必要なものがあれば検討してまいりたいと考えています。

④ 保育士の確保、処遇改善のため、町独自で補助単価の上乗せをすることは今のところ考えていません。

再問 ①労働Mysで実施することになつた経緯と定員について尋ねます。

- ② 満3歳になつたから利用できないというのでは、制度の趣旨が活かされないのでは。
- ③・④ 国基準では保育士を確保できないのでは。

福祉課長 ①九度山保育所の今の人員体制では実施が難しく、労働Mysに協力いただけると言うことで、協議を開始しました。定員は3名程度を想定して

います。

② 年度途中でも保育所や幼稚園への入園は可能なので、いったん満3歳未満としたいと思えます。

③・④ 事業所とは国基準で実施することで話がついています。事業所全体では、職員8名のうち保育士は5名で、そのうち通園制度の実施にあたっては、専任の保育士は必ず1名と兼任でもう1名職員を張りつけていくことを考えています。

※労働者協同組合Mys・・・現在、河根幼稚園で地域子育て支援事業「生まれ! Chicks & Mommy」等を運営している法人。



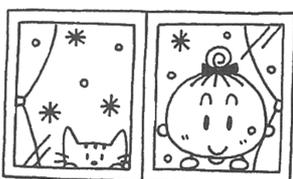
▶ 10月29日産業厚生常任委員会で紀美野町こども園を視察

問二 クマ被害を出さないための対策について

質問 クマ被害を防ぐための対策として、クマの侵入ルートとなる場所の不要果樹伐採の費用補助と、クマへの対処方法についての正確な情報・知識を町民に提供することが必要だと考えます。

町長 不要果樹伐採については基本的に所有者や管理者が管理するもので、私有財産に対する補助は現時点では困難であると考えてます。

情報提供については、現在、町ホームページでクマ出没時の対応方法や注意事項を掲載しており、今後さらにクマの生態・習性・遭遇時の行動方法など正確な情報について、広報、メール配信、町のLINE公式などで周知を図ってまいります。



## 森一司議員

## 問 今後の町行政の推進について

**質問** 岡本町長におかれましては、あと5か月の任期となった今、舵取り役を担当される意思を表明される時期に来ていらっしゃると思いますが、お考えをお伺いします。

**町長** 私は、「町民が幸せに暮らせる活気ある九度山町にした」という志を持って政治の道に入り大きく6つの柱を5期目の公約として掲げさせていただきました。

①福祉施策では、お年寄りや障がい者に優しいまちづくりとしてシルバータクシークケット助成事業の継続。

②新産業の創設として白浜町・高野町と3町による広域観光協議会を立ち上げ、令和6年度世界遺産登録20周年を記念した事業を高野町と共同で開催しました。また、初の試みとして地域おこし協力隊を募集しましたところ、農業の後継者を目指す2名の若者が本町に移住してく

れております。この取組を継続し、後継者問題を少しでも解消できるように進めております。12月2日「くどやま芸術祭」が国土交通省の「地域づくり表彰」を受賞いたしました。この表彰は、九度山の町並みや世界遺産を背景に現代アートの組合せ、交流人口・関係人口の増加を目指した取組みが高く評価されたものであり、大変有意義なものであります。

③若者が安心して暮らせる定住対策として、さくら2号団地の建設。

④安全なまちづくりとしての公共インフラ整備として道の駅から紀の川左岸農道までのアクセス道路も着実に進捗しています。

⑤「活力あるまちづくり」としての行財政改革で厳しい財政状況の中、効率的、効果的な行政経営を常に考え、ふるさと納税制度を活用し自主財源の確保に務めております。

⑥特色ある教育で地域づくりとしての教育施策では、入学祝い金、修学旅行費補助の導入など、これら6つが5期目出馬の際に上げた町政運営の柱であります。

もし、皆様方のご理解ご協力が得られますならば約20年間の経験を生かし九度山町の飛躍発展のため6度目の出馬を表明致したいと存じます。

**再問** これからの4年間の施策について、どのようなビジョンを考えておられますか。

**町長** 再選がなかった場合には、5期目の公約であった6つの柱を基本理念として、「若者が安心して暮らせる定住政策」と、「お年寄りや障がい者に優しいまちづくり」に力を入れたと考えております。さくら2号団地が完成しますので、梅林町営住宅払下げの道筋をつけ、住む場所を提供したいと考えております。また、子どもの増加が予測されるさくら2号団地周辺に安心して遊べる公園建設を検討いたします。

現在好評を頂いております「シルバータクシークケット助成事業」につきましては、さらに利便性を向上するよう検討を行いたいと思っております。移動販売等につきましても、まず民間事

業者の活用を進めます。高齢者の健康増進につながる「サロン事業」につきましても、継続させるとともに、あらゆる対策を実行し、安心して暮らせる環境を整えてまいります。

また、長年の懸案事項である、町道44号線の延伸や、集落間を結ぶ災害用道路網の整備につきましましては、方向性を示したいと考えております。

「教育施策」についてであります。ALIT2名体制を維持し、英語教育のさらなる充実を図り、「九度山の教育をぜひ受けたい」と教育の面から九度山町に住みたいと思ってもらえるような教育に力を入れたいと思っております。そして町の取組みをもつと町民の皆さんにお知らせをするよう情報発信にも努めてまいります。

今年、九度山町は新町制70年の節目を迎えました。この歩みを80年、100年と続けていけるよう、私が培ってきた経験を最大限に発揮し、精一杯舵取り役を務める所存であります。

**前田 彦尚 議員**

**問 スズメバチの駆除に行政の支援(補助金)を**

**質問** 農家の方から相談を受けました。

畑の中でスズメバチが飛来しているのを見つけ、危険を感じたので、役場に相談した。業者さんを紹介していただいたので業者さんに駆除をお願いした。「早速業者さんが来てくれて、まず、蜂の巣を探すところから始めました。約2時間かけて、やっと巣を見つけて駆除して頂きました。暑い中本当に大変だったと思います。」

請求金額をみて驚いた。5万円でもいいかなと思って用意していたが5万円を超えた。10万円もいらなかったけど相当高くついた。暑い中本当に必死で頑張ってくれた業者さんに支払う金額は妥当かなと思います。個人で支払うにしては結構大金である。」と申ししていました。

このケースは、オオスズメバチだと思います。オオスズメバチは、土の中に巣をしているの

で中々見つけにくい。そして、刺されたら命を落とす事があり大変危険であります。

現在町の支援は、自分で駆除する場合は、防護服の貸し出しと薬剤支給、自分で駆除出来ない場合は駆除業者の紹介をして頂いています。

そこで業者に依頼した場合、町で「補助金交付要綱」を制定し、住民の要望に応じて頂けたら有難いと思いますが、当局のご所見を賜ります。

**町長** 駆除を業者に依頼した場合の費用負担は大きく、また、

巣は土の中や高いところにつくられることもあり、毒性や攻撃性が高いことから、駆除には危険が伴い専門業者に頼らざるを得ない状況につきまして、十分認識をしております。

町といたしましては、専門業者へスズメバチ駆除を依頼した際の補助金については課題と考え今後検討してまいりたいと思います。



**前川 成巳 議員**

**問 町道8号線(舟戸付近)の拡幅について**

**質問** 町道51号線(商店街通り)から紀の川側の住宅街に入る道路は、救急車も消防車も入ることができません。道路が狭く都市計画法から、家屋の建て替えはできず、リフォームは出来ても道がないため、若い世代はやむなく九度山町から離れていってしまうという現実があります。

町道8号線の拡幅については、平成15年頃から国土交通省との協議を重ねているとのことですが、今になっても何の進展もないようです。現在の進捗状況についてお尋ねします。

町道8号線の拡幅につきましては、平成15年度より緊急車両が通行可能な幅2.5メートルへの拡幅について、国土交通省と協議を重ねておりました。内容は、河川に隣接する工事の施工に対し、河川区域内へ道路構造物を設置しないなど、国の

許可に対して必要とする条件を満たすことが技術的に非常に困難であることが分かり、町道8号線の拡幅につきましては、町として実現の見込みがないものと考えております。

**再問** 私の調査したところ、国との協議の中で、平成25年・26年・30年に九度山町の担当課に対し国から再三の連絡がありながら町長に相談できなかったのかお尋ねします。

**建設課長** 当時の協議内容、資料等は詳しくは残っておりません。今年度につきましても国土交通省と条件等の協議を行っておりませんが、条件を満たす状況で8号線の改良を行うことは、難しいということになります。

**町長** 基本的に道路構造上の問題があります。全体を考え、国土交通省の言われている通り以外に方法はありませんが、相談しながらいい方法があれば検討します。



○決算審査特別委員会の意見書(要旨)

本委員会は、令和6年度に係る決算審査の結果について、12月3日の本会議において次のとおり報告しました。

1・町税の収納率は99.3%と驚異的な数字であります。このことは、徴収業務において町民に寄り添い、税務相談や分納等きめ細かい対応をしており、高い評価と敬意を表します。

2・シルバータクシー助成事業について、町民の評判もよく使い勝手のいい制度であります。引き続き、次年度以降も事業の継続に努められた

3・農業発展支援のために県補助金に乗せざる形での『補助金制度』があり、農業用機械については自費購入する必要がありません。担い手不足、高齢化している現状を考えると、機械が必須の課題であり、町独自の補助制度を設

け農業の発展に努められたい。

4・世界遺産登録20周年の年にあたり高野町と連携して記念事業を沢山実施され、世界遺産の魅力を広く発信する事ができました。また、白浜・九度山・高野3町による共同事業が開始され、今後少しでも多くの人に九度山町の良さを知って頂き、観光・経済の発展につながることを期待します。

5・民間住宅家賃補助の実績は、3件となっており、夫婦で中学生以下の子どものいる世帯が対象となっており、また、今後、入居条件の拡充をご検討いただき

最後に、町税については、特に現役世代の転出及び退職による個人町民税の減収が大きく、これからの減収傾向は続くものと考えられます。今後、行財政運営にあたっては、最小の経費で最大の効果を上げられるよう期待します。

○決算認定に対する討論

■一般会計

≪賛成≫

決算は、自主財源比率は27.3%で、前年度と同水準。実質収支が黒字決算となっております。

歳入については、町税の未納・滞納徴収で、やむを得ない事情により滞納となつている滞納者に対し、差し押さえなど法的手段や県地方税回収機構などを使わず徴収に当たつていることを高く評価します。

歳出については、ひきこもり支援が拡充され、妊産婦および産後の育児支援の事業、町民の健康増進の援助事業が執行されています。ため池整備事業で防災対策事業が行なわれました。「地域優良賃貸住宅」の建設で、住環境の整備が行なわれています。河根小中学校児童・生徒の安全な通学のための支援事業が行われました。2023年6月豪雨で被災した公共土木施設と農業施設の復旧工事が行なわれました。

町民の福祉向上を目指す予算が執行されたことを評価します。来年度予算への要望

として、住宅に困窮する低所得者、高齢者のために町営住宅建設の検討を求めます。

以上、住民の福祉を増進させる町政の推進を求めて、賛成討論といたします。

■国民健康保険特別会計

≪反対≫

2030年度の県内市町村の保険料水準の「完全統一」に向け、資産割率減・所得割率増の税率改定が行われました。

この改定で、資産額がある世帯で、所得額50万円、資産額50万円の4人家族(介護保険第2号被保険者2名)の世帯以外は、保険税額が値下げとなる一方、資産額がない世帯は、所得額が0円以外、値上げとなり、低所得世帯にも値上げとなることに賛成できません。町が、国保事業基金を

活用して、国保税の負担軽減を図ることを求めて、国民健康保険特別会計決算認定に反対します。

■ 後期高齢者医療特別会計

《反対》

保険料が前の期と比べ、一人あたり平均で10,545円もの値上げとなりました。高齢者には重い負担です。このような重い負担が押しつけられるのは、健康上のリスクの高い高齢者だけを囲い込んで「別勘定」の保険制度にしているからです。

高齢者が安心して医療を受けられる制度ではない後期高齢者医療制度を廃止し元の老人保健制度に戻すことを求める立場から、後期高齢者医療特別会計決算認定に反対します。

総務文教常任委員会

視察先：兵庫県淡路市及び神戸市

実施日：令和7年11月13日（木）～14日（金）



所見・成果：

淡路市議会のBCP（業務継続計画）策定について視察し、災害時における議会と執行部の役割分担や行動基準を、平時から明確にしておくことの重要性を学びました。本町においても、同様に議会BCPの整備を進め、災害発生時に迅速かつ適切に対応できる体制を構築すること、町民の安心につながる防災力の向上に取り組んでまいります。

また、神戸市の人と未来防災センターを視察し、日常から避難行動を考慮しておくことの大切さを再確認するとともに、防災意識を高める必要性を強く感じました。今回の視察で得た学びを今後を生かし、引き続き

執行部と連携しながら、町民の皆さまが安心して暮らせる防災力の強化に取り組んでまいります。

産業厚生常任委員会

視察先：和歌山県紀美野町及び白浜町

実施日：令和7年10月29日（水）～30日（木）



所見・成果：

令和8年度から実施される「こども誰でも通園制度」を令和6年7月から紀美野町では実施されております。

利用方法は、事前に申請を行ってもらい、面談を経て利用開始となります。3歳の誕生日の前日までは国からの補助があります。が、それ以降は町の負担で

年度末まで預かってくれるそうです。園も綺麗で子どもたちがのびのびと園内活動が出来るとなっており、すぐ良い施設でした。

紀美野町には、子育て支援年表があり、いっどこでどのような支援・サポートがあるのかわかるのでありがたい年表だと思います。

白浜町の視察では、文化や自然など、それぞれの町が持つ独自の魅力を生かして観光客を増やしていくのが目的で、インバウンド誘客にも力を入れております。

3町が連携し広域での情報発信や誘客促進に期待しております。

◇さくら2号団地現地視察  
実施日：令和7年12月12日（金）

地域優良賃貸住宅さくら2号団地は、全部屋フロアリングの木造2階建3DKが14戸建設されました。一戸ずつ外壁に色鮮やかな色を使い明るい雰囲気となっており、外には倉庫も完備し、窓も二重

ガラスなので、防音と断熱性に優れており大変住みやすい環境でした。



全議員視察研修

視察先：埼玉県横瀬町

実施日：令和 7 年 11 月

24 日（月）～ 25 日（火）

所見・成果：

二地域居住とは、都市から地方・地方から地方へと、都市や地方に関わらず「あらゆるふるさとづくり」など多様なスタイルでの実現で、個々のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）の向上につながるという取り組みである。

埼玉県横瀬町は九度山

町と同じような悩みを抱えており「何もしなければこの町の未来はない」と「まちづくりの実践や実証実験ができる町」として「よこらぼ」が生まれた。企業や団体・個人が地域課題を解決できそうなサービスを考えても、実証できる場所や自治体が無かった。そんな時にチャレンジできる町としたのが横瀬町の「よこらぼ」であった。

このことで、町外の人による起業、地域の担い手づくりを二地域居住の方々に進めていただくことを、官民共同で目指していることが、移住促進につながると思っていると思われる。

「よこらぼ」に提案した企画が、チャレンジしやすい土壌を生み、面白い町と思っていたいただき、令和 7 年「住み続けたい町」のランキング（埼玉県）で 1 位に選ばれている。（※大東建託調べ）九度山町においても二地域居住を進めるにあたっては、大いに参考になる事例であった。



◇伊都郡町村議会議長副議長会全議員研修会

去る令和 7 年 11 月 21 日、

高野山学びの杜において「データに基づく町の現状と課題について」の研修に参加した。

議会の役割は、審議・議決だけではなく、政策実現に向けた具体的な方法や手段を考え、政策提案も必要である。それには、正しい現状把握ができてこそ課題が見え、政策の方向性が見える。その上に立って「予算が正しくつけられているか・効果があったのか・総合計画、政策、施策に反映されているか・持続可能な発展のための政策

ができていくのか」等の問題を把握することが望まれる。そのためには、先ずデータの活用が必要である。例えば九度山町の、人口推移グラフ・合計特殊出生率・未婚率・初婚年齢・平均出産年齢・出生・死亡・転入・転出（20代・30代）等のグラフから、勘ではなくデータをみることで、より具体的なイメージができ、問題が認識できることとなり、政策に向けた議論がスムーズにできる。

そして方向性が決まれば「目標を定め、政策実現に向けた具体的な方法・手段を考え、政策提言をしていく」という事である。



## 町議会の活動日誌

- 10月 29日 産業厚生常任委員会視察研修  
30日 (紀美野町及び白浜町)
- 11月 13日 総務文教常任委員会視察研修  
14日 (兵庫県淡路市及び神戸市)
- 21日 令和7年度伊都郡町村議会議長副議長会全議員  
研修会 (高野町)
- 24日 全議員視察研修 (埼玉県横瀬町)
- 25日
- 27日 議会運営委員会
- 12月 3日 本会議、全員協議会、議会広報編集委員会
- 10日 本会議
- 11日 総務文教常任委員会
- 12日 産業厚生常任委員会  
産業厚生常任委員会現場視察 (さくら2号団地)
- 16日 議会運営委員会、本会議、議会広報編集委員会、  
議会情報公開特別委員会
- 22日 議会広報編集委員会
- 23日 令和7年度伊都郡町村議会議長副議長会視察研修
- 24日 (香川県善通寺市、直島町)
- 25日 議会広報編集委員会  
第2回総務文教常任委員会と校長会の懇談会
- 1月 18日 第18回九度山世界遺産マラソン
- 19日 内外情勢調査会 (和歌山市)
- 2月 2日 和歌山県町村議会議長会臨時総会及び県幹部との  
意見交換会 (和歌山市)
- 12日 令和7年度和歌山県町村議会議長会議長・副議長・  
13日 事務局長研修会 (白浜町)
- ” 第45回北方領土返還要求運動和歌山県民大会  
(橋本市)

## 議会情報公開特別委員会の設置

1 2 月定例会最終日に議員発議で特別委員会を設置いたしました。

議会インターネット中継 (録画配信) を通して、議会や町政が町民にとって、より身近なものとなるよう活動を行ってまいります。

委員構成は以下のとおりです。

委員長 松本 孝太郎  
副委員長 野口 恭久  
委員 阪井 亮太  
森 一 司  
伊丹 俊也

※敬称略

## ご意見・ご要望をお待ちしております

宛先 〒648-0198  
九度山町大字九度山1190  
議会事務局「議会広報編集委員会」あて

TEL 54-2019(代表)  
FAX 54-4705(直通)  
mail [gikai@town.kudoyama.lg.jp](mailto:gikai@town.kudoyama.lg.jp)



九度山町議会ホームページ二次元コード↑

## 次回、定例会は3月に予定されています。

日程が決まり次第、ホームページに掲示します。

<https://www.town.kudoyama.lg.jp/>

## 編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年の夏は、真夏日の記録が更新されるほど非常に暑く、健康に被害が出るほどでした。又秋以降には、インフルエンザやコロナなども流行し、健康を保つには大変厳しい年でありました。

本年は、穏やかな気候で感染症など流行がない年でありますようお願いしております。

議会では、町民の皆様に関われた分かりやすい議会運営を目指し、予てより協議をしておりましたインターネット配信が、来年度より実施する運びとなりました。皆様には議場に来られなくてもインターネットで見ることが出来るようになります。

今後も町民の皆様とともに、『住みやすい九度山』、『元気のある九度山』を実現させたいと考えておりますので、今以上に議会運営にご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。